

「令和6年能登半島地震について」(第22報)
～令和6年11月26日22時47分頃の石川県西方沖の地震について～

令和6年11月26日22時47分頃に発生した石川県西方沖を震源とする地震について、地震や津波に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

本件に関する問い合わせ先

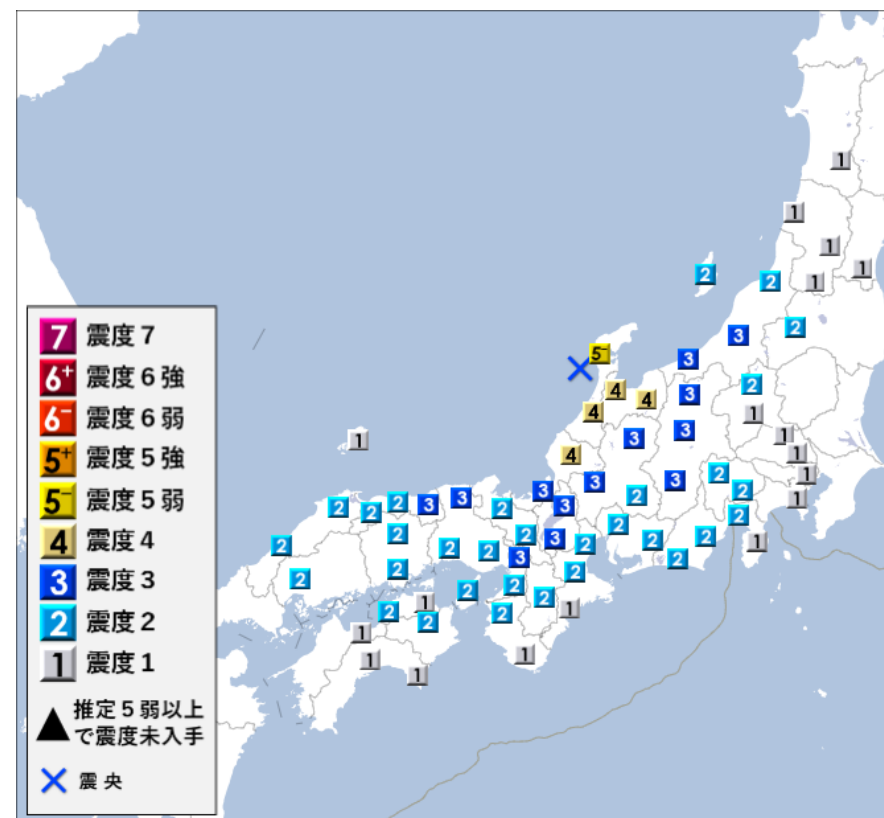
地震火山部 地震津波監視課
電話 03-3434-9041

震度5弱を観測

震度5弱 石川県

揺れの強かった地域では
落石や崖崩れなどに注意
※1週間程度(特に今後2～3日の間)
最大震度5弱程度の地震に注意

11月26日22時51分発表



地震の概要

検知時刻 (最初に地震を検知した時刻)	11月26日22時47分
発生時刻 (地震が発生した時刻)	11月26日22時47分
マグニチュード	6.6(暫定値;速報値の6.4から更新)
発生場所	石川県西方沖 深さ 7km(暫定値;速報値 深さ約 10kmから更新)
発震機構	西北西―東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内で発生した地震(速報)
震度	【最大震度5弱】石川県の輪島市(わじまし)・志賀町(しかまち)で震度5弱を観測したほか、東北地方から中国・四国地方にかけて震度4～1を観測
地震活動の状況 27日00時15分現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震が13回発生(震度3:2回 震度2:4回 震度1:7回)
長周期地震動の観測状況	石川県加賀で長周期地震動階級2を観測

防災上の留意事項と今後の見通し

(防災上の留意事項)

この地震により若干の海面変動が予想されますが、被害の心配はありません。

揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどが起こりやすくなっている可能性がありますので、今後の地震活動に注意してください。

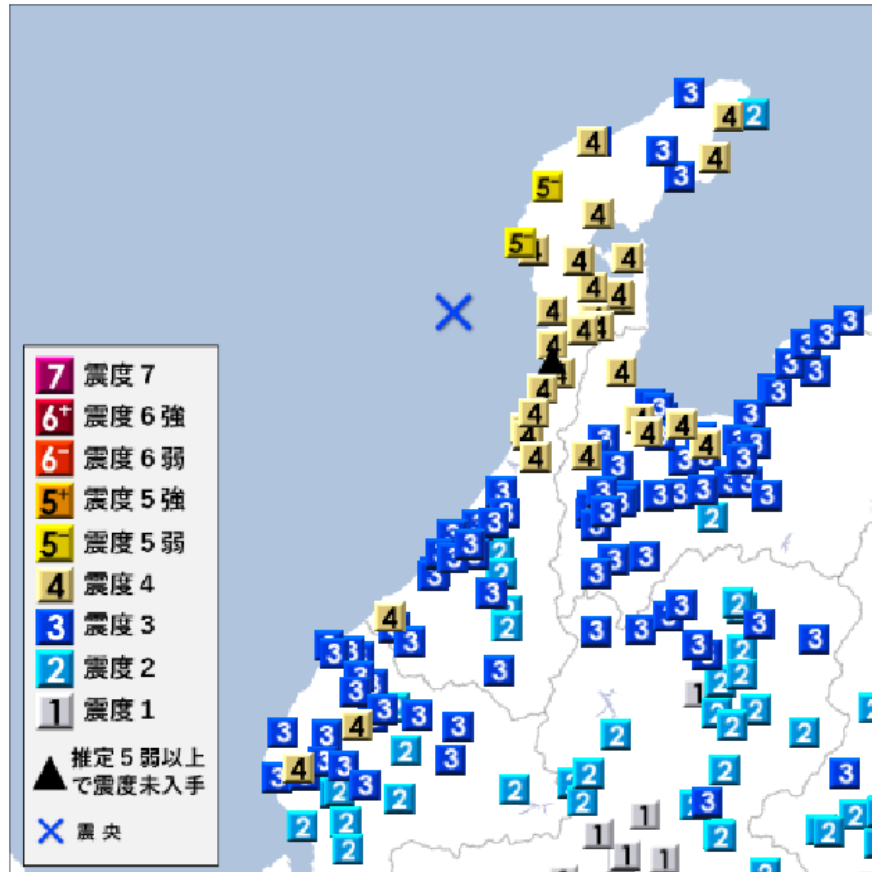
(今後の地震活動の見通し)

過去の事例では、大地震発生後に同程度の地震が発生した割合は1～2割あることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度5弱程度の地震に注意してください。特に今後2～3日程度は、規模の大きな地震が発生することが多くあります。また、この地域では、今年1月1日に発生したM7.6の地震をはじめとして、約4年間地震活動が続いており、当面、継続すると考えられます。M7.6の地震後の活動域及びその周辺では、引き続き強い揺れや津波を伴う地震発生可能性があります。

※今回の地震は「令和6年能登半島地震」の一連の地震活動です。

震度分布図・推計震度分布図

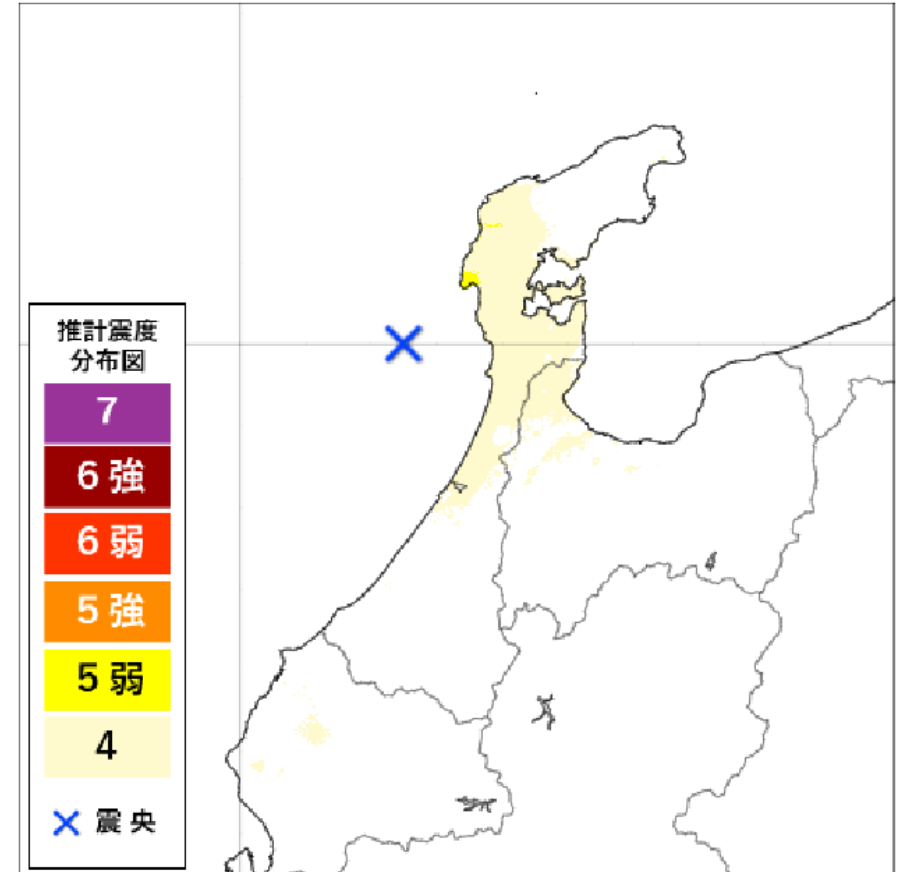
各観測点の震度



11月26日22時51分発表

羽咋市旭町は震度計台に傾きがあり欠測中

推計震度分布図



※留意事項は以下リンクからご確認ください。

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

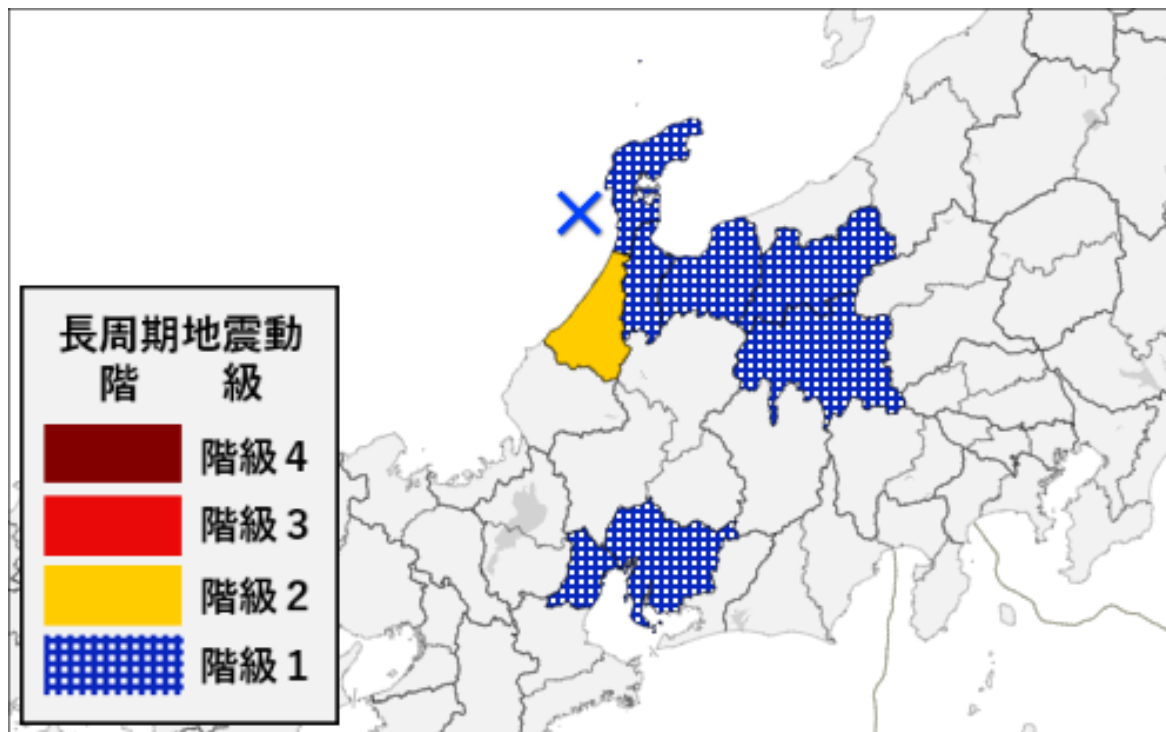
地震情報：https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map

推計震度分布図：https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map

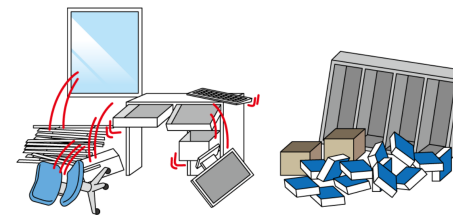
長周期地震動階級の観測状況

階級	地域名称
階級2	石川県加賀
階級1	石川県能登 富山県東部 富山県西部 長野県北部 長野県中部 愛知県西部 三重県北部

11月26日22時57分発表



階級4



立っていることができない

階級3



立っていることが困難

階級2



物につかまりたいと感じる

階級1



ほとんどの人が揺れを感じる

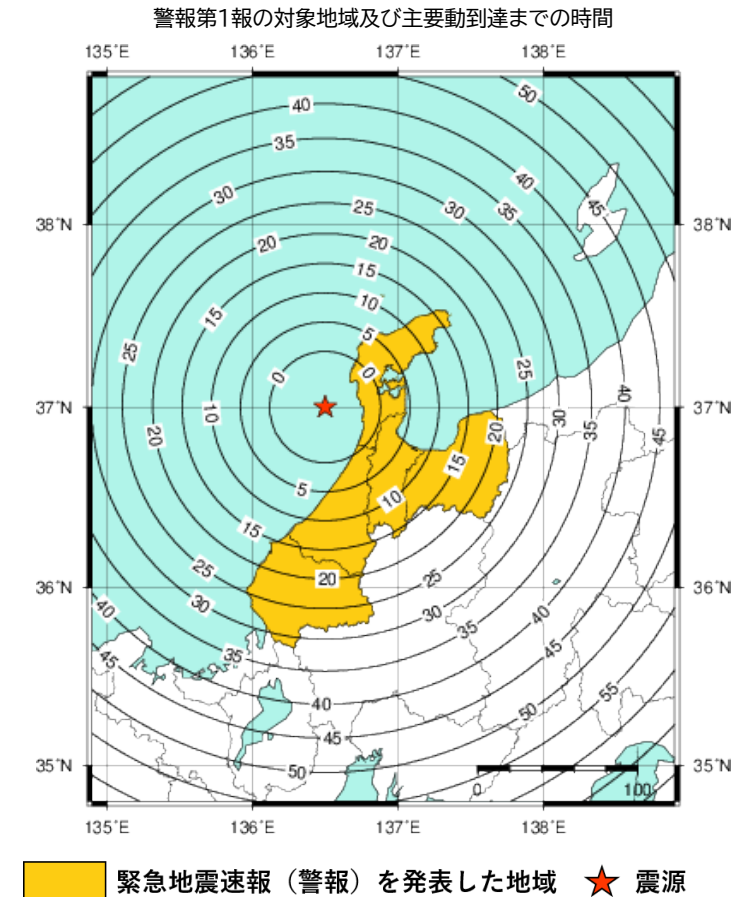
最新の情報は、以下のページでご確認ください。

長周期地震動に関する観測情報:<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>

緊急地震速報の発表状況

緊急地震速報の詳細

提供時刻		経過 時間 (秒)	震源要素					予測した 震度と階級
地震波 検知時刻	22時47分9.3秒		震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第2報	22時47分13.5秒	4.2	石川県西方沖	37.1	136.5	20km	6.2	※1
※1	震度5弱程度	石川県能登						
	震度4程度	石川県加賀、富山県西部、富山県東部、福井県嶺北						



発表状況の詳細は、以下のページでご確認ください。

緊急地震速報(警報)の発表状況:https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html

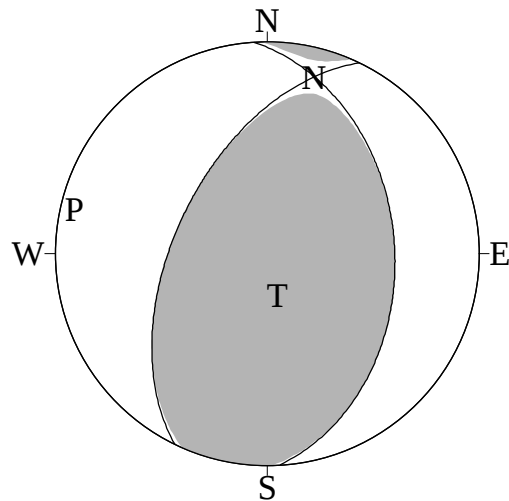
発震機構解

11262247

西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型

[CMT解(速報)]

Mw=6.2



下半球等積投影法で描画

P：圧力軸の方向

T：張力軸の方向

セントロイドの位置

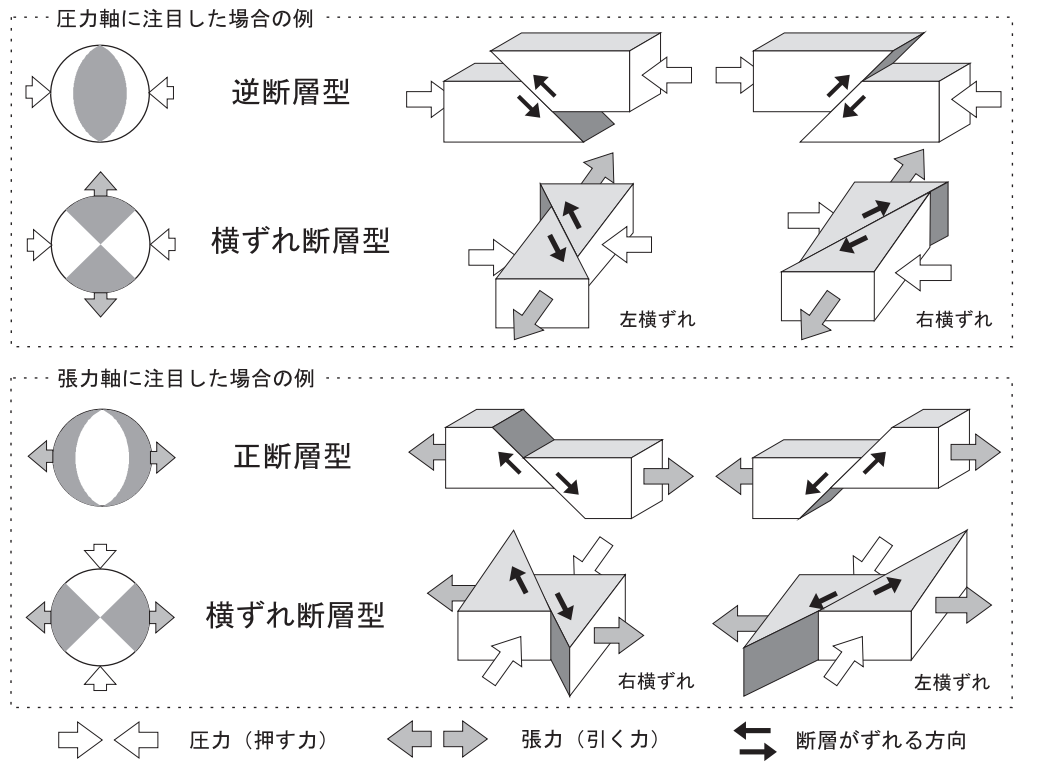
北緯 36度60分

東経 136度27分

深さ 約10km

セントロイドの位置とは、
地震の断層運動を1点で
代表させた場合の位置。

発震機構解 [CMT解] について



気象庁作成

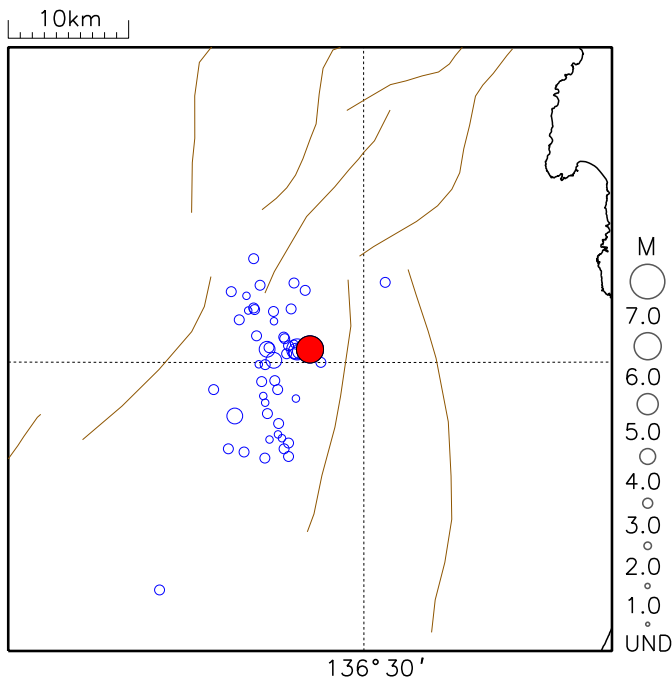
今回の地震活動

震央分布図（詳細図）

震央分布図（広域図）の四角形領域内の震央分布図

深さ0 -- 100km、 M 全て

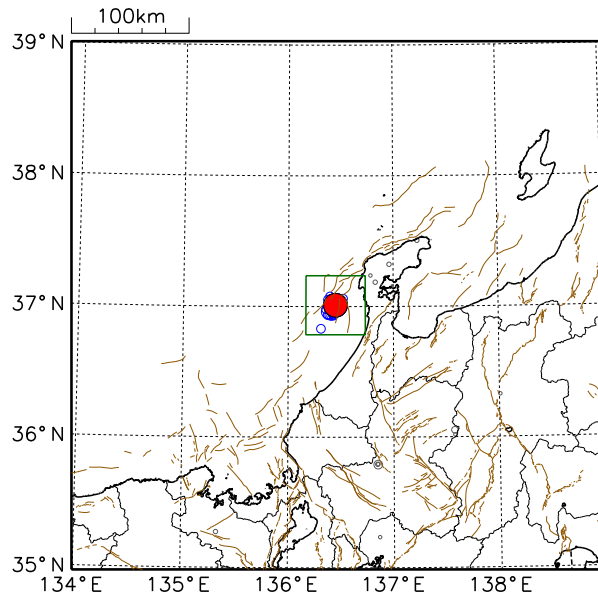
2024 11 26 20:00 -- 2024 11 26 23:50



震央分布図（広域図）

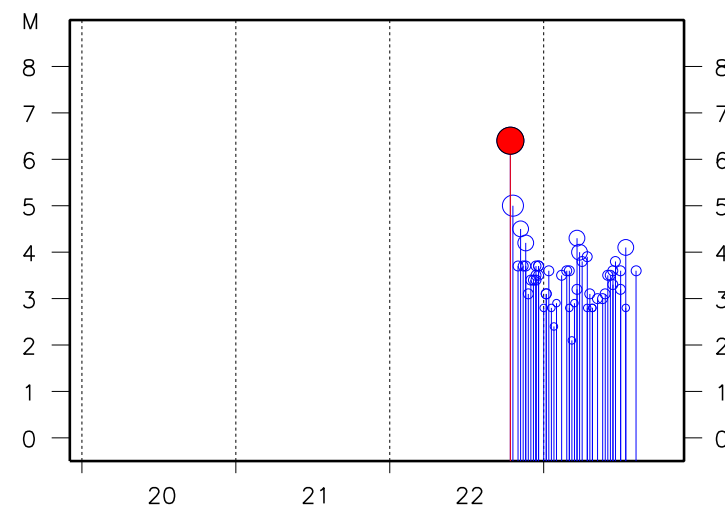
深さ0 -- 100km、 M 全て

2024 11 26 20:00 -- 2024 11 26 23:50



震央分布図（詳細図）の地震活動経過図

2024 11 26 20:00 -- 2024 11 26 23:50



(震源の色について)赤色：今回の地震 青色：今回の地震より後に発生した地震 灰色：今回の地震より前に発生した地震

- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- ・震央分布図中の黒色の点線は、海溝軸を示す。

<資料の利用上の留意点>

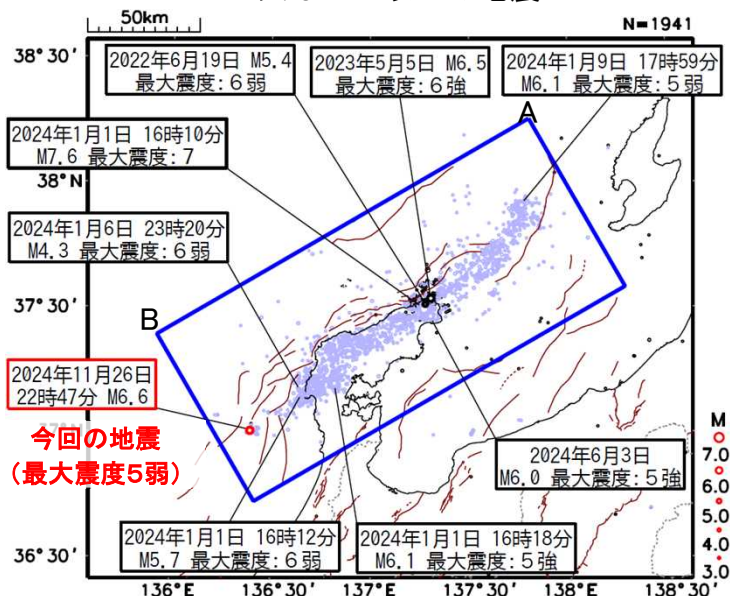
- ・表示している震源は、速報値を含みます。
- ・速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

「令和6年能登半島地震」の地震活動 (発生場所の詳細)

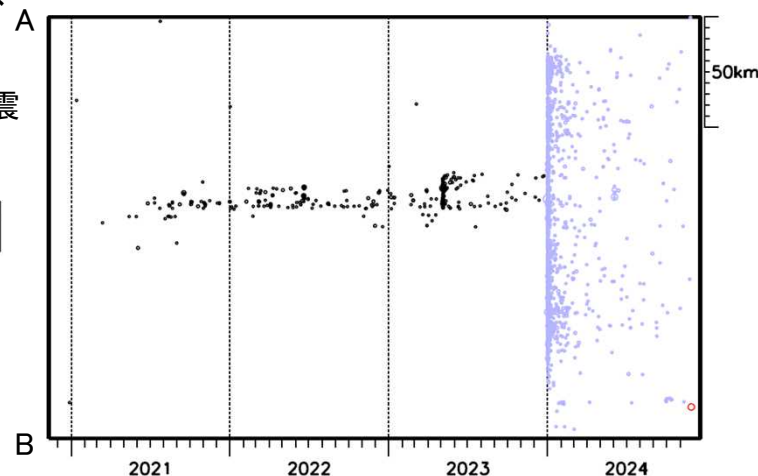
震央分布図

(2020年12月1日～2024年11月26日22時47分、
深さ0～30km、M3.0以上)

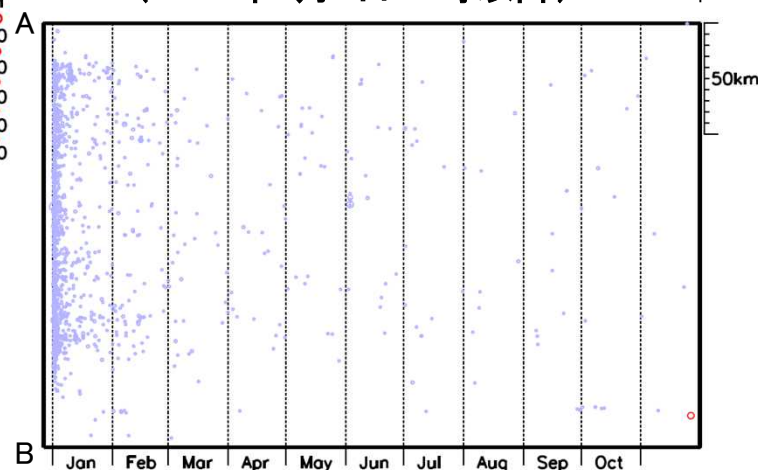
2020年12月1日～2023年12月31日の地震を黒色、
2024年1月1日～11月25日の地震を水色、
2024年11月26日の地震を赤色で表示
吹き出しは、今回の地震、最大震度6弱以上の地震
又はM6.0以上の地震



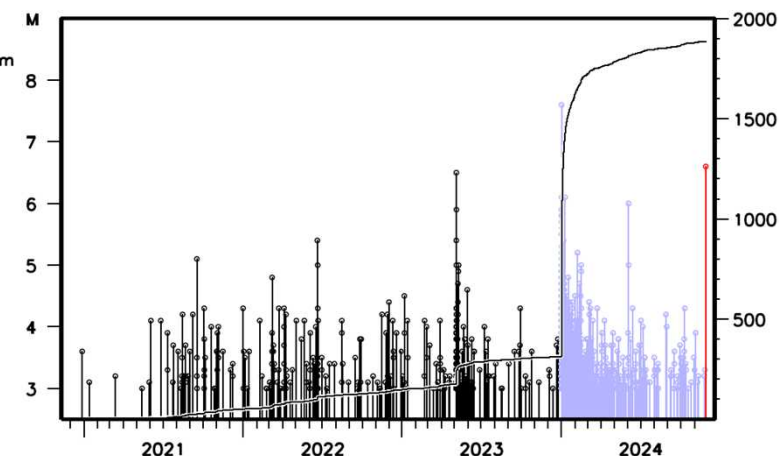
矩形領域内の時空間分布図 (A-B投影、2020年12月以降)



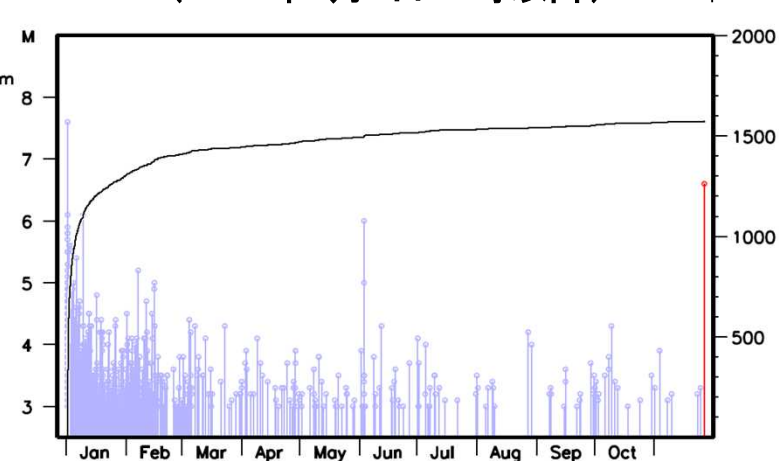
(2024年1月1日00時以降)



矩形領域内の地震活動経過図 (2020年12月以降)



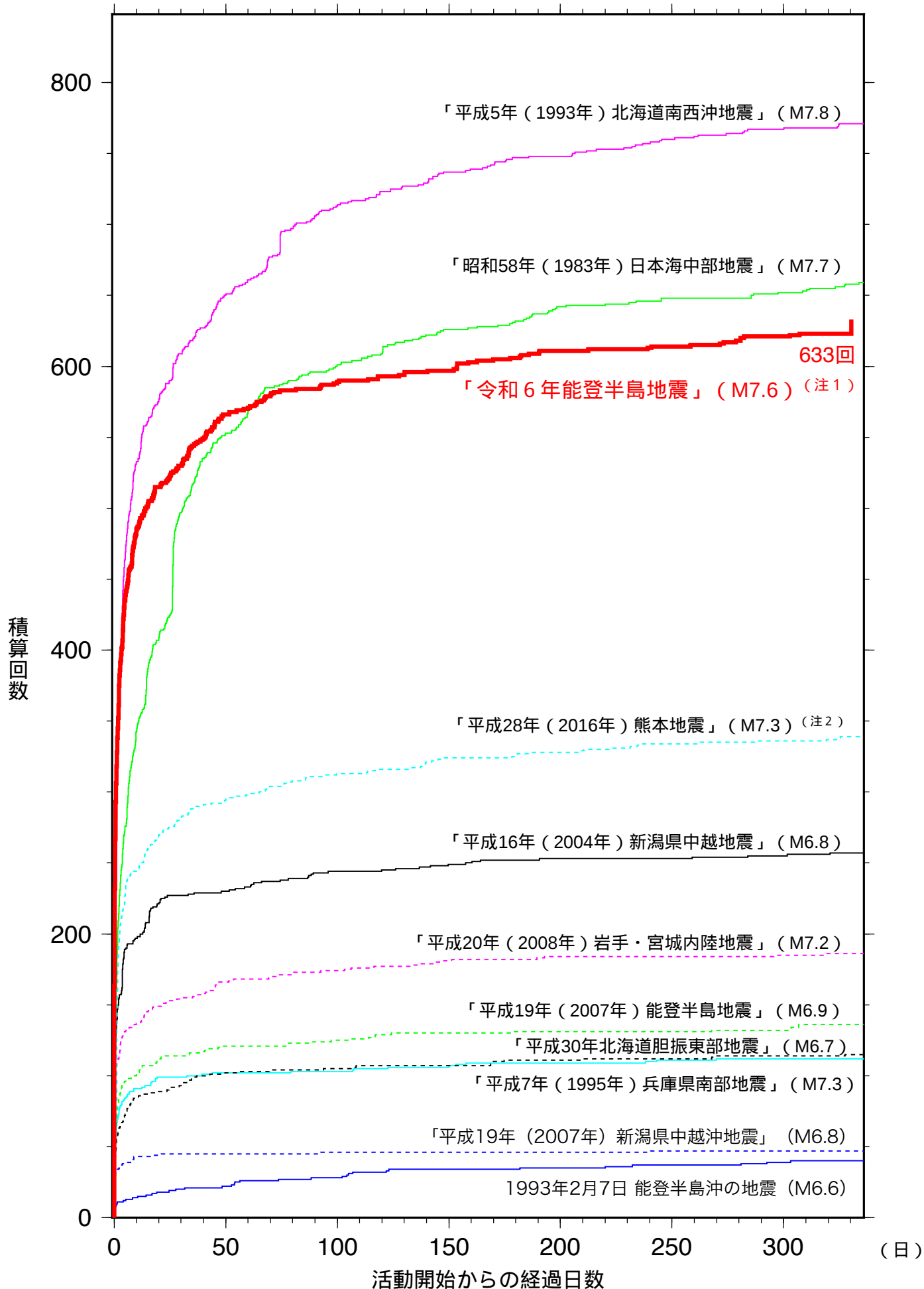
(2024年1月1日00時以降)



丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。
表示している震源のうち、11月26日00時以降のものは速報値。

陸のプレートでの主な地震活動の地震回数比較（マグニチュード3.5以上） （回）

2024年11月26日23時00分現在



この資料は速報値であり、後日の調査で変更することがある。
今回の地震のマグニチュードについては、これまでの最大を示している。
（注1）2024年1月1日16時10分（M7.6）の地震を起点にカウントしている。
（注2）2016年4月14日21時26分（M6.5）の地震を起点にカウントしている。

気象庁作成

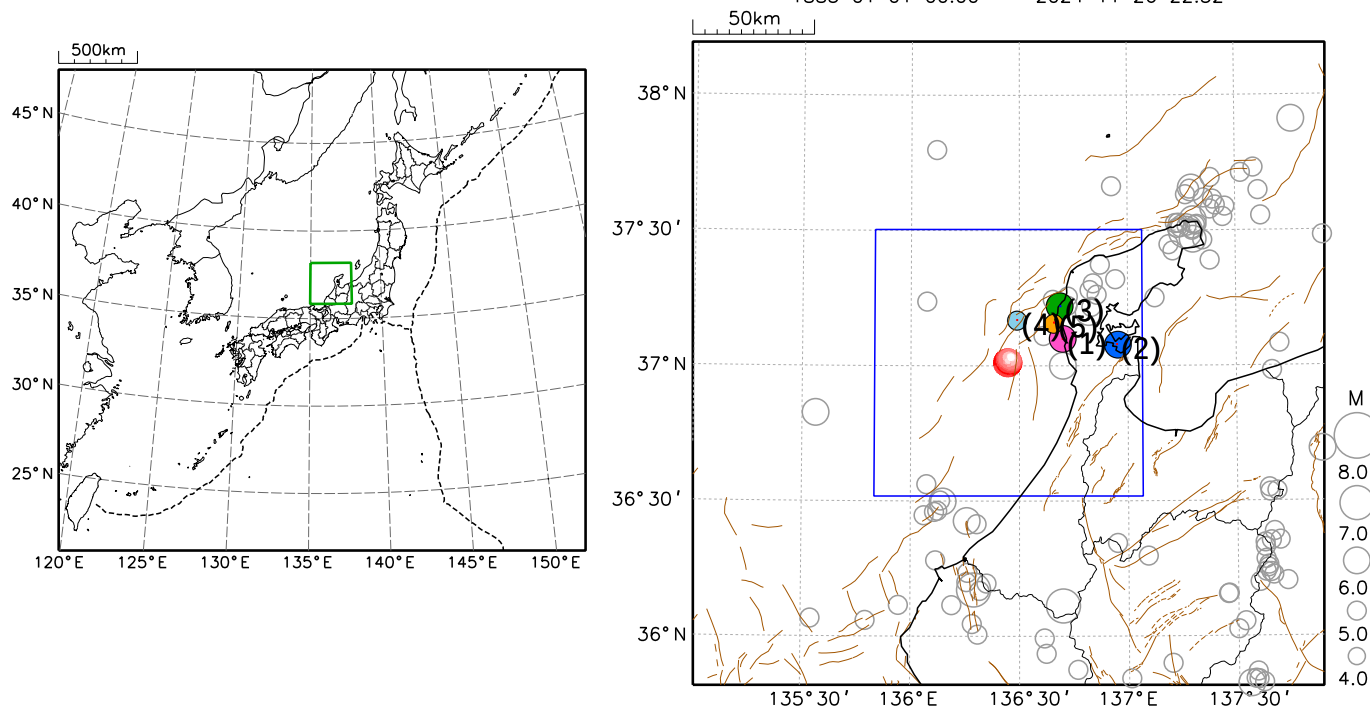
今回の地震周辺の過去の主な地震活動

震央分布図

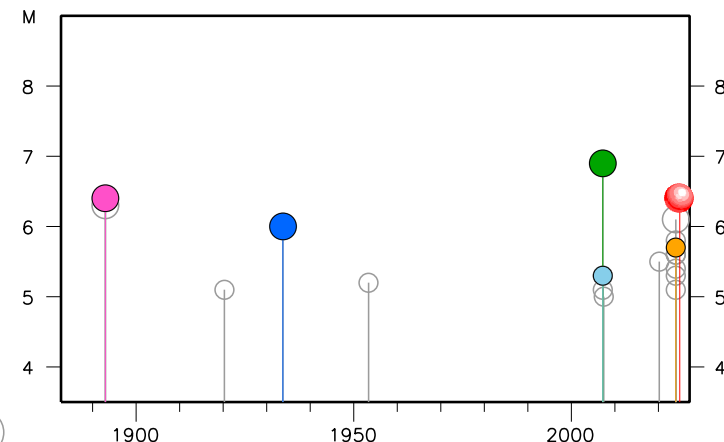
M 5.0 , 深さ : 0 ~ 150km

今回の地震を赤く表示

1885 01 01 00:00 -- 2024 11 26 22:52



震央分布図の青色矩形内のM-T図



過去の主な地震

主な地震のシンボルの色と番号の対応

桃：(1), 青：(2), 緑：(3), 水：(4), 黄：(5)

(1) 1892年12月9日 M:6.4 能登半島沖

(2) 1933年9月21日 M:6.0 石川県能登地方

(3) 2007年3月25日 M:6.9 能登半島沖
「平成19年（2007年）能登半島地震」

(4) 2007年3月26日 M:5.3 能登半島沖

(5) 2024年1月1日 M:5.7 能登半島沖

・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

・震央分布図中の黒色の太破線は、海溝軸を示す。

・1885年から1918年の地震の震源要素は、宇津（1982,1985）及び茅野・宇津（2001）による。

<地震の名称について>

・気象庁が定めた地震の名称を「」で示す。

・上記以外で、被害を伴い、広く社会的に地震の名称として知られているものについて、名称（「」を付加しない）を併記している。
名称は、「日本の地震活動（第2版）」（地震調査研究推進本部）による。

・地震の名称の後ろの[]は、この規模の順に近接して発生した主な地震が他にあることを示す。
名称は、最大規模の地震にのみ付加しており、[]内に記載した他の地震が異なる番号で記載される場合がある。

<資料の利用上の注意点>

・今回の地震は、速報値を表示しており、精査後に修正する場合がある。

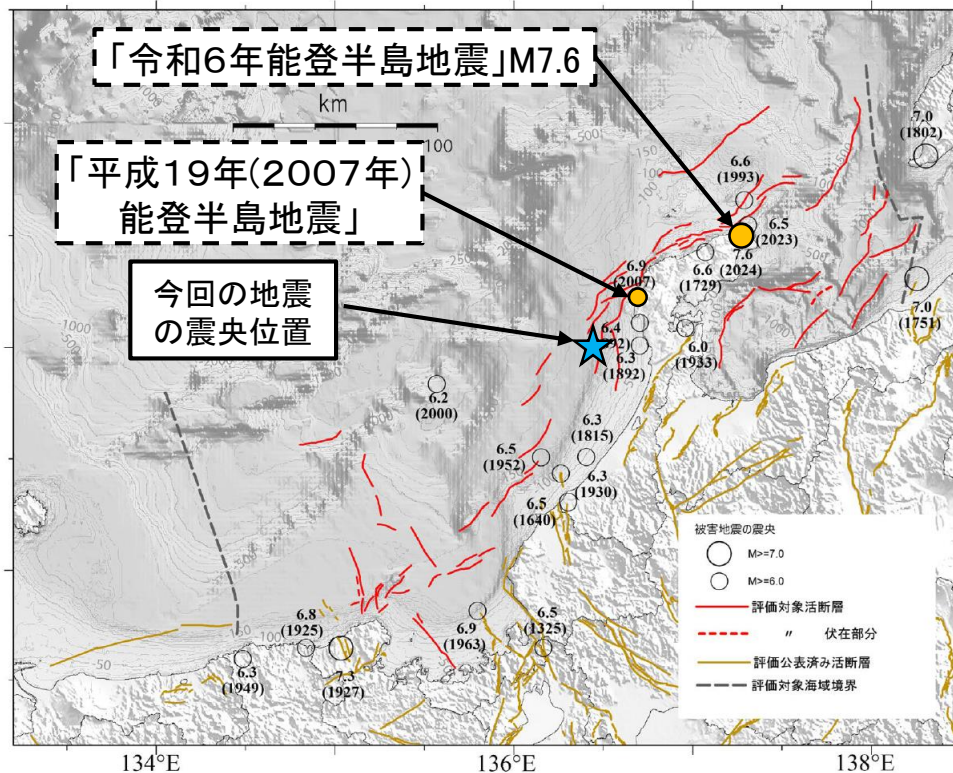
・過去の地震活動は、M5.0以上の地震、今回の地震は、M4.0以上の地震を表示している。

・過去の地震活動は、地域、時期に依らず、全てM5.0以上の地震を表示している。地域や時期により検知能力（ ）が異なる場合がある。

検知能力：特定の地域、時期において、あるM（規模）以上の地震は、概ね全て検知できていると考えられるとする。

この場合、そのMが小さいほど検知能力が高いと言う。

一般的に、同時期であれば、海域より陸域の方が検知能力は高く、同一地域であれば、時期が新しいほど検知能力は高い。



●周辺の活断層

○今回の地震の震源周辺には、日本海側(兵庫県北方沖～新潟県上越地方沖)の海域活断層(帯)(左図中の赤線)が存在します。

●過去の例

○過去には、2005年の福岡県北西沖の地震(M7.0)のように、大きな地震の後、近くの活断層(警固断層帯南東部)は活動せず当初の地震活動域が広がらなかった例もあれば、1930年の北伊豆地震(M7.3)のように、近くの活断層(北伊豆断層帯)が活動し、当初の活動域が広がった例もあります。

○「平成28年(2016年)熊本地震」では、M6.5の地震が発生した2日後に、隣接する別の活断層でより規模の大きな地震が発生しました。

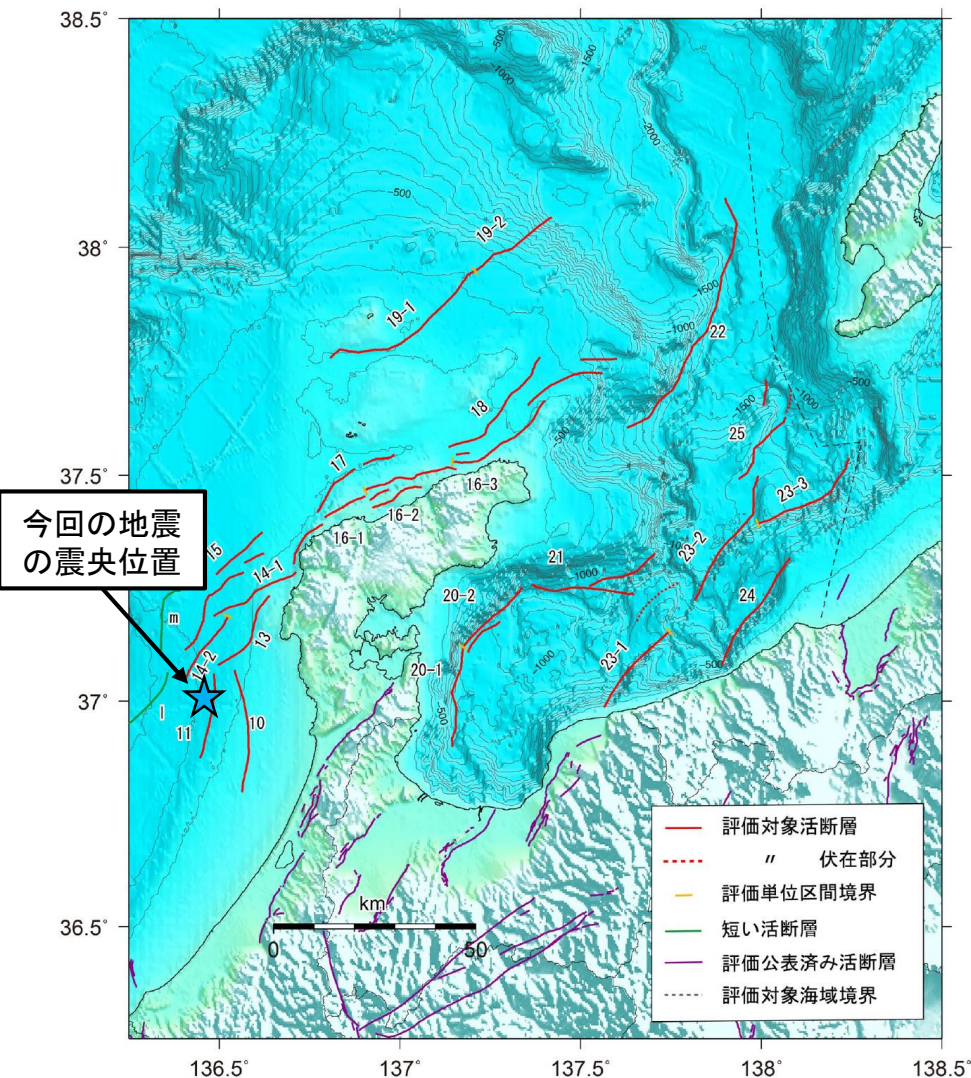
●留意事項

○過去の例のように、今回の地震の周辺に存在する活断層等で大きな地震が発生する可能性は否定できないため、留意が必要です。

○今回の地震の周辺に存在する活断層で大きな地震が発生した場合には、沿岸地域では高い津波が到達したり、強い揺れとなる可能性があります。

活断層の位置図は地震調査研究推進本部による。
 「日本海側の海域活断層の長期評価—兵庫県北方沖～新潟県上越地方沖—(令和6年8月版)」の詳細
https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/offshore_active_faults/sea_of_japan/

日本海側の海域活断層 ―兵庫県北方沖～新潟県上越地方沖― (東半部)



活断層の位置図は地震調査研究推進本部による。
 「日本海側の海域活断層の長期評価―兵庫県北方沖～新潟県上越地方沖―(令和6年8月版)」
 の詳細
https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/offshore_active_faults/sea_of_japan/

●過去の主な地震

「平成19年(2007年)能登半島地震」(M6.9)は、門前断層帯の門前沖区間の活動です。

「令和6年能登半島地震」のM7.6の地震では、能登半島北岸断層帯の各区間と門前断層帯の門前沖区間の東部での隆起が確認されています。

●活断層の長期評価

(断層全体が同時に活動した場合の規模)

評価対象の海域活断層帯(東半部)

- ⑩羽咋沖(はくいおき)東断層(M7.3程度)
- ⑪羽咋沖(はくいおき)西断層(M7.0程度)
- ⑬海士岬沖(あまみさきおき)東断層(M7.0程度)
- ⑭門前断層帯(M7.5程度)
- ⑮沖ノ瀬東方断層(M7.4程度)
- ⑯能登半島北岸断層帯(M7.8～8.1程度)
- ⑰輪島はるか沖断層(M7.1程度)
- ⑱能登半島北方沖断層(M7.3程度)
- ⑲舳倉島(へぐらじま)近海断層帯(M7.8程度)
- ⑳七尾湾東方断層帯(M7.6程度)
- ㉑飯田海脚南縁断層(M7.3程度)
- ㉒富山トラフ西縁断層(M7.8程度)
- ㉓上越沖断層帯(M7.8～8.1程度)
- ㉔名立沖(なだちおき)断層(M7.3程度)
- ㉕上越海丘東縁断層(M7.2程度)

海域の短い活断層(東半部)

- l 前ノ瀬南方断層
- m 沖ノ瀬断層

発表した情報などについて

- 津波警報等の発表状況

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>

- 津波の観測状況

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami>

- 潮位観測情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tidelevel>

- 地震情報

https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map

- 推計震度分布図

https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map

- 長周期地震動に関する観測情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>

- 緊急地震速報の発表状況

https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html

- 発震機構解

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/mech/top.html>

- 震央分布

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=hypo>

- 地震から身を守るために

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/jishin_bosai/index.html

- 津波から身を守るために

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami_bosai/index.html

- 気象庁防災情報X(旧Twitter)

https://twitter.com/JMA_bousai

